

2008年1月吉日

全労済三重県本部（三重労済）社会貢献活動について

2007年9月29日全国労働者共済生活協同組合連合会（略称：全労済）は、創立50周年を迎えました。

このことを受けて、全労済創立50周年の記念事業（NEXT50）「役職員ボランティア活動」が提案され、全労済各府県本部において検討・実施することが確認されました。

三重県本部（三重労済）においても、地域社会への貢献をおこなうという観点から、社会貢献活動の一環として、従来から実施してきた助成活動に加え、三重県が推進する「企業の森」づくりに参画し、『全労済の森』として植栽活動をおこないます。

【目 的】

森林は水を育み、地球の温暖化の元凶であるCO₂の吸収や憩いの場など、私たちの生活に深くかかわっています。

しかし、林業の経営難や従事者の高齢化などにより、荒れるにまかされて山地が多数発生しているのが現状です。

「全労済の森」づくりはこのことに着目し、全労済創立50周年の記念事業として、これまでの50年に感謝するとともに、これからの50年・100年への決意とし、社会貢献活動のひとつとして取り組むことを目的とします。

【活動内容】

初年度、役職員による植栽活動を実施し、次年度より5年間の保育管理（下刈り等）については、森林組合に委託していくものとします。

- ・実施時期 2008年4月19日（土）
- ・実施場所 津市美杉町下多気字能登瀬地内
- ・植栽面積 0.83ha.
- ・植栽本数 675本

全国労働者共済生活協同組合連合会三重県本部
三重県労働者共済生活協同組合

理事長 松村 忠政